

お話の記憶6

あかりちゃんは4月から幼稚園の年長さんです。あかりちゃんは今度、ゆり組になります。

年長さんになるまえに、お母さんと一緒にお部屋の片付けをすることになりました。

すると、小さくて着れなくなった洋服が出てきました。胸に猫の絵が書いてあるTシャツや、お気に入りだったピンクのハート柄のスカートも、もう着れません。

お母さんが「お隣のはなちゃんにあげたらどうかしら？」といいました。

はなちゃんが喜んでくれると思ったのであかりちゃんは、2着ともあげることにしました。

はなちゃんは隣に住んでいる2歳の小さな女の子です。

はなちゃんは、あかりちゃんのことを大好きでよくあかりちゃんの家遊びにきます。

はなちゃんなら、喜んで着てくれるなどあかりちゃんも思いました。そして、

まえに欲しがっていた うさぎのぬいぐるみと、赤いリボンも、お姉ちゃんになって使わなくなったのであげることにしました。

お母さんと一緒に、洋服やぬいぐるみを入れる箱を作りました。

ダンボールの箱に折り紙で飾り付けをしました。

はなちゃんの家は2階建てで、丸い屋根です。

ピンポンと呼び鈴を鳴らすと、はーいと声がして、はなちゃんが出てきました。

プレゼントを渡すとはなちゃんはとても嬉しそうです。

はなちゃんのお母さんが、プレゼントをもらったお礼に、おやつに作ったクッキーのお裾分けをしてくれました。

家に帰るとお母さんが紅茶を入れてくれて、二人でクッキーを食べました。

問題

問題1 あかりちゃんの4月からのクラスと同じ絵を見つけてまるで囲みましょう。

問題2 はなちゃんにあげたものを見つけてまるで囲みましょう。

問題3 はなちゃんの家を見つけて丸で囲みましょう。

問題4 あかりちゃんのはなちゃんのお母さんにいただいたものを丸で囲みましょう。

問題5 このお話に何人の人が出てきましたか？その数だけ丸を書きましょう。

問題6 あかりちゃんとお母さんは、どんな話をしながらクッキーを食べたと思いますか？お話をしてみましょう。

お話の記憶 解答用紙6

問題1



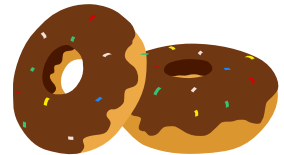
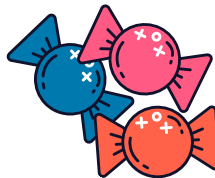
問題2



問題3



問題4



問題5



お話の記憶7

ゆうたくんのお父さんは一週間前からお仕事で東京へ行っています。しばらく、会えないので、夜8時には家に電話をしてくれることになっています。

雄太くんは夜8時に電話が鳴るのを楽しみにしています。今日はもう10分過ぎています。電話がなりました。お父さんから電話です。雄太くんは喜んで電話をとりました。

「お父さん。今日はいつもより少し電話をくれるのが遅かったね。」雄太くんがいうと「ごめん、ごめん。まだ仕事が終わらなくて、今日は会社からかけているんだ。でもお約束だからね。雄太と話をするとお父さんも元気がでて頑張れるから。」と言ってくれました。

雄太くんは、幼稚園のみんなで鬼ごっこをしたら最後まで鬼から逃げきれた話や、小さいお友達が転んで泣いていたので先生のところまで連れて行ってあげたお話をしました。

お父さんは、「そうか、そうか。」と雄太くんの話を嬉しそうに聞きました。

お父さんは、仕事先の人からもらったお饅頭がとっても美味しかったから、3日後に帰る時にお土産で買って帰るねと嬉しい話をしてくれました。

「他にお土産を買って行くけど何か欲しいものがある？」と聞かれたので、雄太くんはサッカーボールをおねだりしました。

それから、お母さんに電話を代わりました。

妹のみきちゃんはぐっすり寝ていたなのでその日はお父さんとはお話はしませんでした。

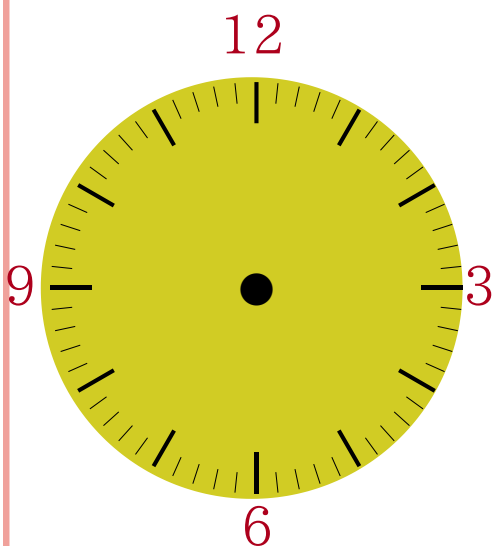
電話を切るとお母さんは、雄太くんに、明日みきちゃんにもお土産を聞かなくちゃねといいました。

問題

- 問題1 雄太くんのお父さんが電話をしてくる時間の時計の針を書きましょう。
- 問題2 雄太くんが今日幼稚園でした遊びはなんでしたか？その絵を見つけてまるで囲みましょう。
- 問題3 お父さんが仕事先の人からもらった美味しかったものはなんでしたか？丸で囲みましょう。
- 問題4 雄太くんがお父さんに、おねだりをした物はなんでしたか？丸で囲みましょう。
- 問題5 雄太くんは何人家族だったでしょう？その数だけ丸を書きましょう。
- 問題6 雄太くんはみきちゃんにお父さんがお土産を買ってきてくれることを話します。雄太くんになってみきちゃんへ話すようにお話をしてみましょう。

お話の記憶 解答用紙7

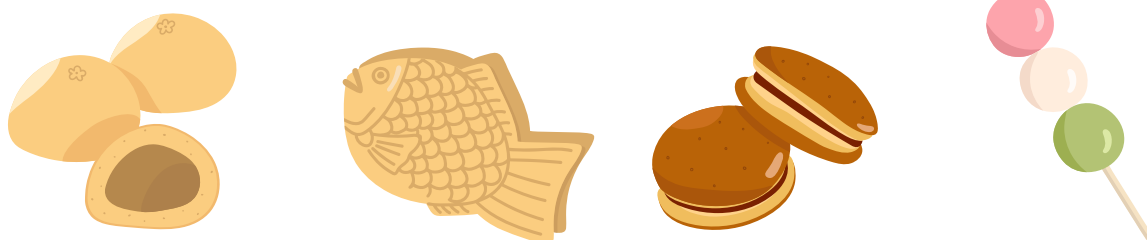
問題1



問題2



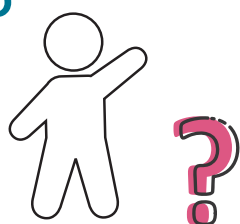
問題3



問題4



問題5



お話の記憶 8

お姉ちゃんのさやかちゃんと、妹のあさみちゃんのは夜寝るまえにお母さんに絵本をを読んでもらっています。いつもは好きな本を1冊ずつ読んでもらっているのですが、今日は動物園にお出かけをして布団にはいるのが遅くなってしまいました。

2人の本を読んでいると寝るのが遅くなってしまふので、ジャンケンをして勝った方の選んだ本を読むことになりました。

「じゃんけんぽん！」と手を出すと。さやかちゃんはパーを、あさみちゃんはグーを出したので、勝ったさやかちゃんは大喜び。絵本を選び出しました。

さやかちゃんは、最近魔女の女の子のお話が大好きです。読んでもらおうと本を探していると後ろで「えーん。えーん。」とあさみちゃんが泣き出してしまいました。あさみちゃんはジャンケンで負けたので、自分の好きな本を読んでもらえないので悲しくなってしまったのです。

「あさみちゃん。あさみちゃんの好きな本は明日また読もうね。今日はお姉ちゃんの本を読もう。魔女の本はあさみちゃんも好きだったでしょう？」と、お母さんがあさみちゃんをなだめています。

さやかちゃんは、魔女の女の子の本を本棚に戻すと、あさみちゃんの好きなうさぎのみみちゃんが冒険をする絵本を持ってきました。

「あさみちゃん、みみちゃんの絵本を読んでもらおう。このお話は私も大好きだから。」と言って、さやかちゃんがあさみちゃんの顔をのぞくと。あさみちゃんの顔がぱっと明るくなりました。

それから、お母さんに絵本をいつものように読んでもらっているうちに、あさみちゃんは途中でスースーと寝てしまいました。お話を読み終わるとお母さんが、「さやかちゃん、優しい子になったわね。」とお母さんが言ってくれたので、さやかちゃんは嬉しくなりました。

問題

問題1 夜寝るまえにお母さんはいつも何冊絵本を読んでいますか？その本の数だけ丸を書きましょう。

問題2 じゃんけんて勝った子は何を出しましたか？選んで丸で囲みましょう。

問題3 さやかちゃんの好きな絵本を選んで丸で囲みましょう。

あさみちゃんの好きな絵本を選んで三角で囲みましょう。

問題4 今日お出かけしたところはどこでしたか？選んで丸で囲みましょう。

問題5 お母さんはさやかちゃんのどんなところが優しいと思ったのでしょうか？お話をしてみましよう。

お話の記憶 解答用紙 8

問題1



問題2



問題3



問題4

